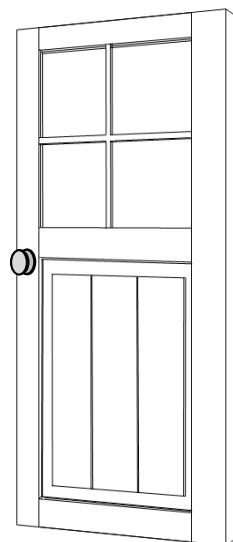


※この説明書には施工だけでなく、ドアのお手入れ方法等も記載されておりますので、必ずお施主様にこの説明書をお渡し下さい。

天然木質内装ドア

Ena ドア



施工説明書・取扱説明書

目次

1. 安全上のご注意-----	P1
2. 全体図-----	P2
3. 片開きドア施工手順-----	P4
3方向調整丁番（調整方法）-----	P6
3方向調整丁番（取り付け位置）-----	P7
ハンコック・コモンウェルス・サーカ取り付け方法-----	P8
隠し丁番 ー調整の仕方ー-----	P9
4. 1本引きドア施工手順-----	P10
上吊式引戸金物施工手順-----	P11
5. 引き違いドア施工手順-----	P12
6. アウトセット施工手順-----	P13
ソフトクローズ金物施工手順-----	P14
7. 2本引き込みドア施工手順-----	P16
ドアデザイン一覧、吊りもとの見方-----	P18



※この製品の性能と安全性の確保のため、この施工説明書及び取扱説明書をよくお読みいただき、施工は手順通り正しく行って下さい。

※この説明書には施工上・取扱い上、重要な内容が記載されていますので、注意深く読み、理解してから作業等を行って下さい。

1. 安全上のご注意

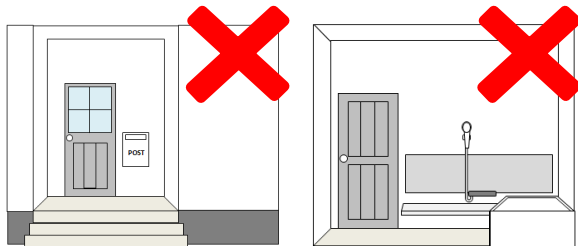
この度はSkog E-naドアをお買い上げいただき、ありがとうございました。

E-naドアを末永く安全にご使用いただく為、施工上および使用上の注意をよく読み、必ずお守り下さい。



施工上のご注意【施工業者様は必ずお読み下さい】

●E-naドアは室内用のドアですので、外装または浴室等には使用することができませんので注意して下さい。



●枠を施工する際、水平・垂直を確認したうえで取り付けを行って下さい。閉まりの悪さやスキマの原因になります。

●下地のない場所への施工はしないで下さい。

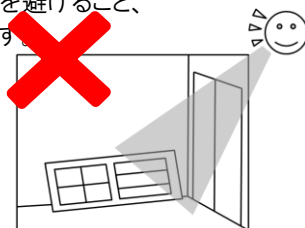
●必ず施工後は引き渡しまで養生をして下さい。

●現場塗装をされる際は、扉本体の上端や下端の小口にも塗装をしてください。

●扉・枠およびガラスに工具をぶつけたり、運搬時に引きずらないようにご注意ください。傷や割れの原因になります。

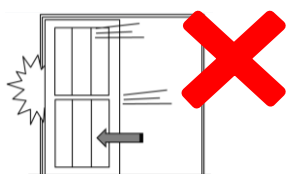


●表面は天然木のため、水を付けたり湿気の多い場所には保管しないで下さい。また、梱包を解くと色変りが始まりますので、日光を避けること、養生をされることをお勧めします。

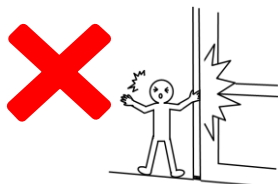


使用上のご注意【お施主様は必ずお読み下さい】

●扉の開閉は静かに行ってください。乱暴な開閉は扉や金物の破損の原因になります。ガラス付きの場合は特に注意してください。

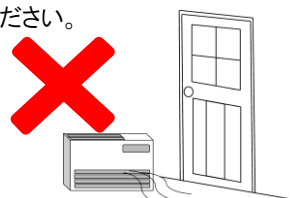


●扉を閉める際、指を挟めないように注意して下さい。

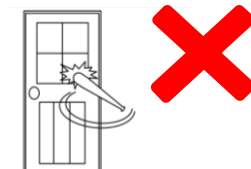


●扉の内外で大きな温度差がある場合、扉が反る場合があります。

●ヒーターなどの熱源を近づけると扉の反りやゆがみの原因となりますので注意してください。



●扉・ガラス等に強い衝撃や物をぶつけないでください。傷や割れの原因になります。



●お子様が扉にぶら下がって遊ぶことなどのないようご注意ください。

●1本引き戸を長期間開いたままにしておくと反りが発生する恐れがあります。



お手入れ方法と木製品としての注意事項【お施主様は必ずお読みください】

●扉や枠に直接洗剤を付けて掃除をしないで下さい。

●シンナー・ベンジン等の使用は、表面の艶が落ちたり、変色したりする恐れがあるので使用しないで下さい。

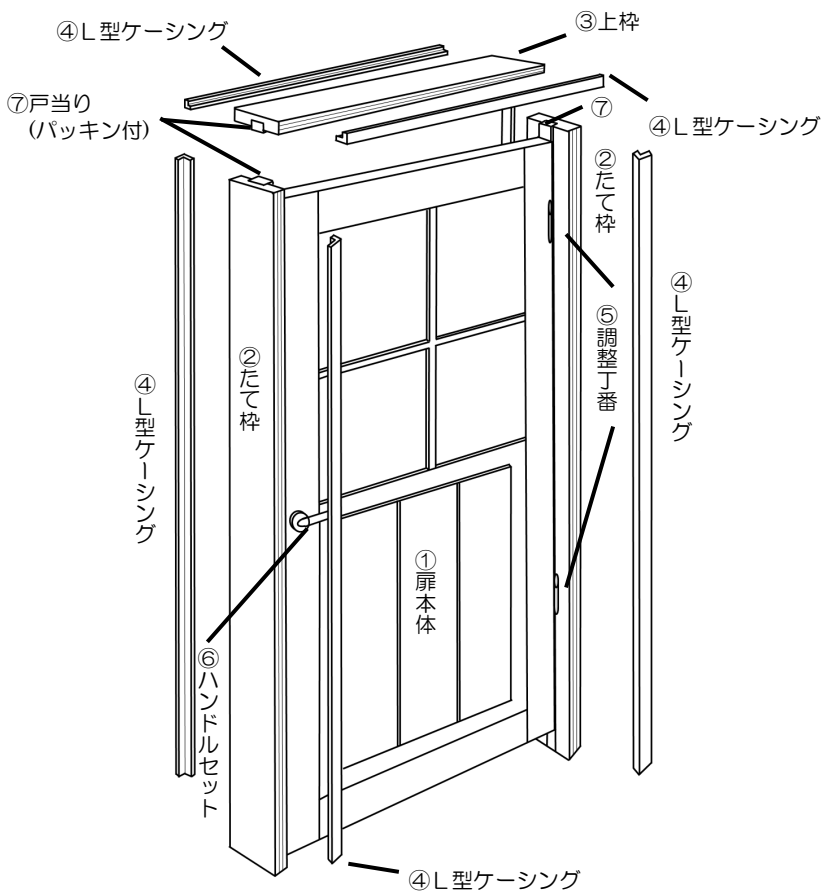
●お手入れする際は、必ず乾拭き又は中性洗剤を薄めた水に雑巾をつけ、硬く絞ってから軽く拭きとって下さい。（水を吸い込むような仕上げの場合は乾拭きだけにして下さい。）

●塗装をしてお使いください。また、天然木を使用しているため、塗装した場合、仕上がりが均一にならない可能性があります。

●天然木を使用しているため、木目や色は製品によって異なります。

●木製品のため、反り・ねじれ・割れ・隙間などが生じる可能性があります。

2. 全体図

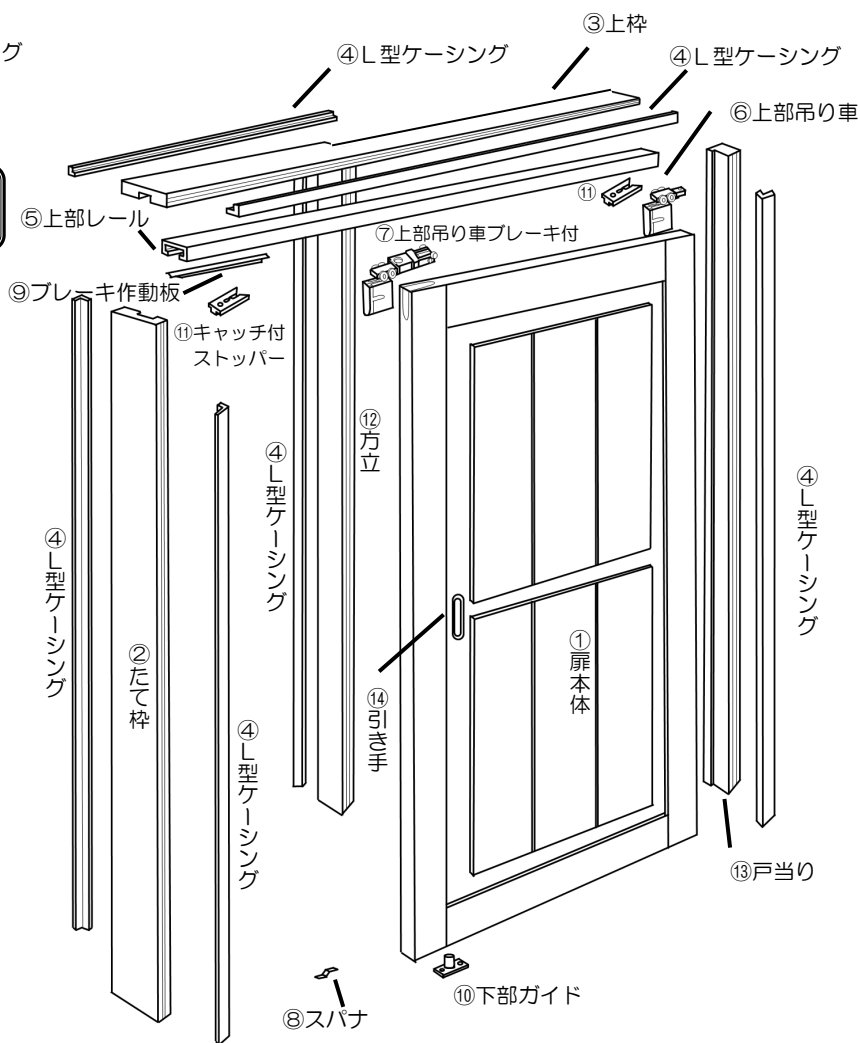


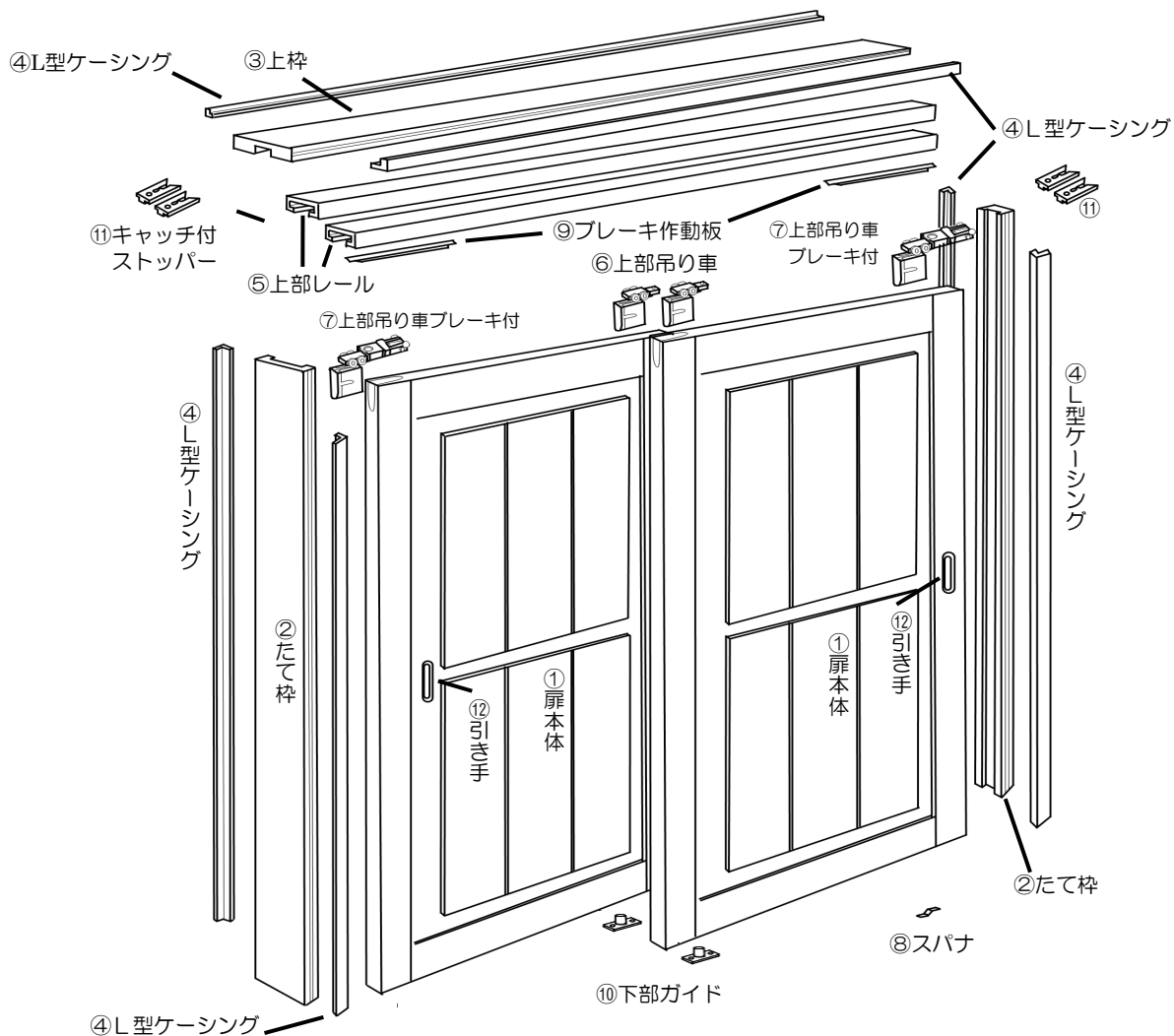
片開きドア

①扉本体	1枚
②たて枠	2本
たて枠高さ2095ですので、現場の納まりに合わせ、カットしてお使い下さい。 (参考 ドア高2032mm/枠30mm/ちり3mm)	
③上枠	1本
(ドア本体のサイズに合わせてカットしてあります)	
④L型ケーシング (オプション)	6本
(枠サイズに合わせて現場でカットして下さい)	
⑤調整丁番	2個
⑥ハンドルセット	1セット
(ハンドルがつく部分には加工が施してあります)	
⑦戸当り (パッキン付)	3本
⑧枠組立ビス	6本
⑨取り付けビス	12本

1本引きドア

①扉本体	1枚
②たて枠	2本
たて枠高さ2095ですので、現場の納まりに合わせ、カットしてお使い下さい。 (参考 ドア高2032mm/枠32mm/ちり9mm)	
③上枠	1本
(ドア本体のサイズに合わせてカットしてあります)	
④L型ケーシング (オプション)	6本
(枠サイズに合わせて現場でカットして下さい)	
⑤上部レール (要ビス穴加工)	1本
⑥上部吊り車	1個
(上吊り車がはめ込む部分には事前に加工が施してあります)	
⑦上部吊り車ブレーキ付	1個
⑧スパナ	1個
⑨ブレーキ作動板	1本
⑩下部ガイド	1個
⑪キャッチ付きストッパー	2個
⑫方立	1本
⑬戸当り	1個
⑭引き手	1個
⑮枠組立ビス	8本
⑯取り付けビス	13本





引き違いドア

①扉本体	2枚	⑥上部吊り車	2個
②たて枠	2本	⑦上部吊り車ブレーキ付	2個
たて枠高さ2095ですので、現場の納まりに合わせ、カットして お使い下さい。 (参考 ドア高2032mm/枠32mm/ちり9mm)		⑧スパナ	1個
③上枠	1本	⑨ブレーキ作動板	2本
(ドア本体のサイズに合わせてカットしてあります)		⑩下部ガイド	2個
④L型ケーシング (オプション)	6本	⑪キャッチ付きストッパー	4個
(枠サイズに合わせて現場でカットして下さい)		⑫引き手ハンドル	2個
⑤上部レール (要ビス穴加工)	2本	⑬枠組立ビス	6本
		⑭取り付けビス	13本

枠ビスセット内容



枠組立ビス 8本
フィニッシュビス F-50
取り付けビス 16本
ダンドリビス 調整55

上吊式引戸金具一覧

HRシステム

ブレーキ (ブレーキ力調整)

※カラーはレールはシルバー、その他はDG色となります

上部レール (HR-150)

シルバー色

※レール取付用のビスは
現場でご用意ください

キャッチ付ストッパー (HR-311)

DG色



ブレーキ付上部吊り車
(HR-292-K-BR2) DG色

オプション ソフトクローズタイプ付
上部吊り車 (FCX-292-K-H) 3

上部吊り車 (HR-220)

DG色

調整式下部ガイド (FG-060)

ブレーキ作動板 (HR-331)

下部ガイド用スパナ (AFD-600)

※FG-060の前後調整
に使用します

3. 片開きドア施工手順

1. 準備

①開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。(図1)

(幅サイズ:外枠寸法+5mm、高さサイズ:2065+5mm+アンダーカット分)

※柱の垂直・床・まぐさの水平を水平器でよく確認して下さい。

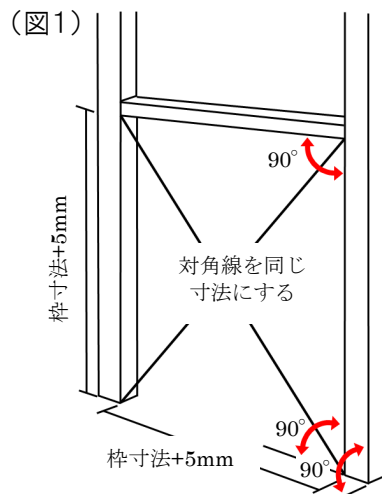
※柱・床・まぐさの水平、垂直が出ていないとたおれ、太鼓、鼓、傾き、ねじれの原因となりますので十分に注意してください。

※対角寸法を同じにして下さい。

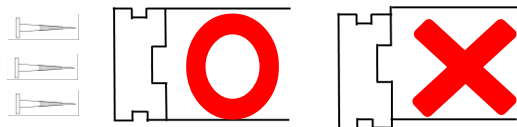
②梱包を開けて部品を確認して下さい。

③組立ビスを使い枠を組み立て、縦枠と上枠にズレがないことを確認して下さい。(図2)

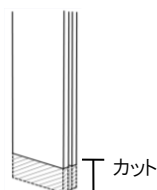
④現場にあわせ、**枠下端をカット**し、施工して下さい。(図3)



(図2)



(図3)



2. 開口部への枠の取り付け

①枠を開口部にはめ込み、先に丁番側の枠の戸当り溝部分に枠取り付けビスを仮固定して下さい。

②水平器を使用し、枠の水平を確認しながらラッチ側の枠の上部を枠取り付けビスで仮固定して下さい。

③水平器を使用し、水平を確認しながらラッチ側の枠の下部を枠取り付けビスで仮固定して下さい。

④左右のたわみがないことを確認し、残りの枠取り付けビスで本固定をして下さい。

※水平垂直を必ず水平器を使って確認してから取り付けてください。開閉不良の原因になります。

※スペーサーを使用し、枠がぐらついたり、隙間が発生するのを防いでください。

スペーサーを使用しないと、丁番が破損する恐れがあります。

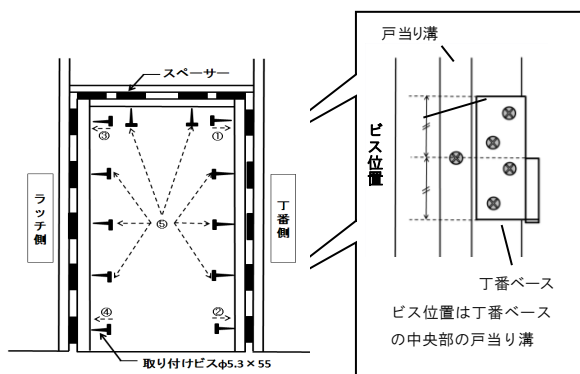
⑤戸当り溝にビスを施工後、接着剤を使用し、戸当り(戸当りパッキン付)を施工して下さい。(図5)

※パッキンが付いているほうが扉側になります。

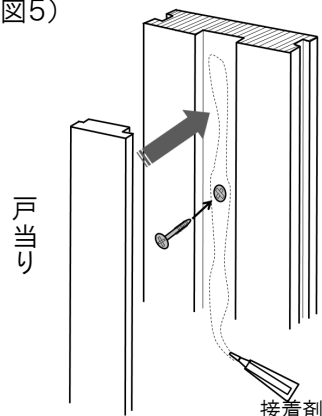
※接着剤はまんべんなく行き渡るように塗布してください。

接着剤の量が少ないと扉の開閉の際に戸当りが外れる恐れがあります。

(図4)



(図5)



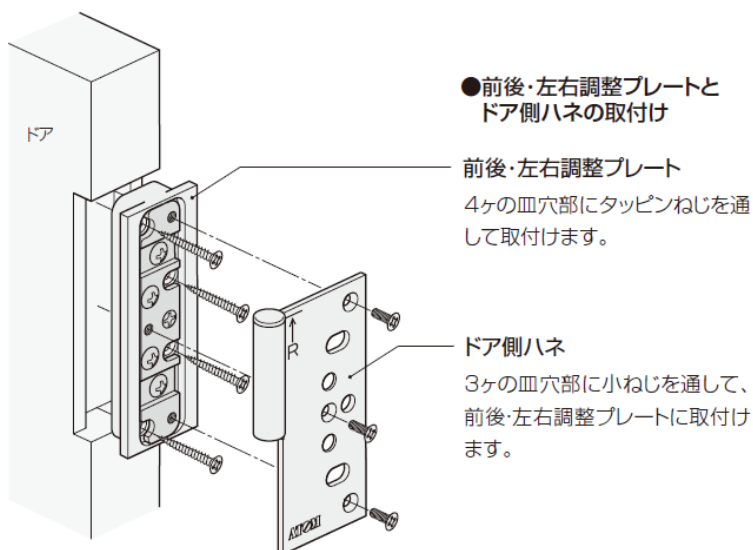
3. 丁番の取り付け

①扉と枠に丁番を取り付けて下さい。(取り付け位置は、7ページをご参照ください。)

※丁番を取り付ける際、丁番の上用・下用を間違えないように注意してください。

■金具の取付け方法

- ①ドアの加工部に前後・左右調整プレートを取付けます。
- ②ドア側ハネを前後・左右調整プレートに取り付けます。
- ③縦枠に枠側ハネを取付けます。



■吊込み手順

- ①上用丁番の軸心棒を引き出します。
- ②ドアが上枠に当たらないようにドアをやや傾けながら、下用丁番から差し込みます。
- ③ドアをまっすぐに立てて上用丁番の位置合わせをしてから、軸心棒を下げて上用丁番の結合を行います。
- ④最後に建付けと軸心カバーの調整をして完了です。

4. ハンドルの取り付け

①金具セットの説明書に従い、ハンドルを取り付けて下さい。

※座とレバーの取り付けには必ず手動ドライバーを使用してください。

5. ケーシングの取り付け

①接着剤を使用し、枠にケーシングを施工してください。(図6)

※接着剤はまんべんなく塗布して下さい。

接着剤の量が少ないと、ケーシングが外れる場合があります。

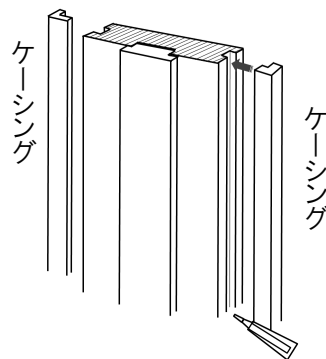
※丁番やラッチ受け座などと干渉する部分は、加工してお使いください。

※接着剤を施工する際、ラッチ受座部分には塗布しない様に注意してください。

ラッチ受けの調整ができなくなる場合があります。

※縦の勝ち納めになっています。

(図6)



6. 扉の調整

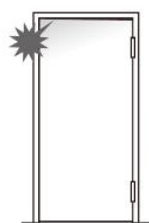
①扉を開閉して、扉が当たる場合は、調整丁番にて扉の傾きを調整してください。

※調整の仕方は、次項にて記載しています。

3方向調整丁番 調整方法

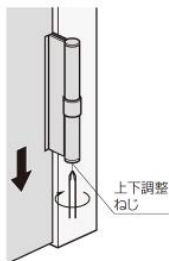
上下調整方法

ドアの上部が枠に当たる

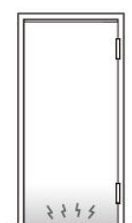


上下調整ねじを
左に回すと、
ドアが下がります。
最大 2.5mm

●下用丁番の上下調整ねじ
を左に回すと、ドアは下が
ります。

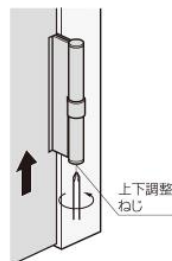


ドアの下部が床をこする



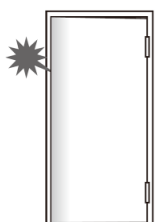
上下調整ねじを
右に回すと、
ドアが上がります。
最大 2.5mm

●下用丁番の上下調整ねじ
を右に回すと、ドアは上が
ります。



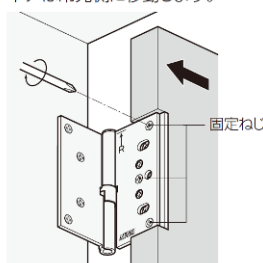
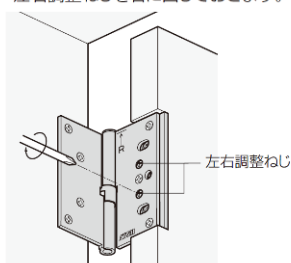
左右調整方法

ドアの開き側が枠に当たる

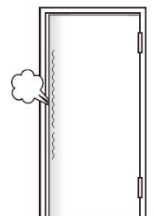


左右調整ねじを
右に回すと、
ドアが吊元側に
寄ってきます。
最大 2.5mm

- ①ドアを移動させたい分量まで、
左右調整ねじを右に回しておきます。 ドアは吊元側に移動します。
- ②ドア側ハネの固定ねじを締めると、

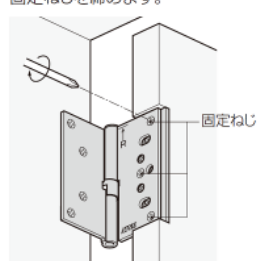
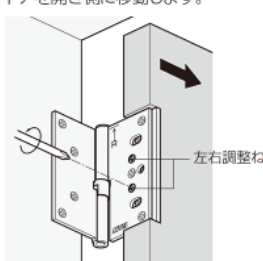
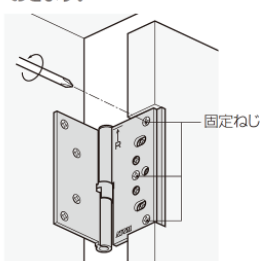


ドアの開き側のすきまが大き過ぎる



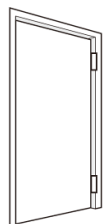
左右調整ねじを
左に回すと、
ドアが開き側に
寄ってきます。
最大 2.5mm

- ①ドア側ハネの固定ねじを緩めて
おきます。
- ②左右調整ねじを左に回して、
ドアを開き側に移動します。
- ③位置が決まったら、緩めておいた
固定ねじを締めます。



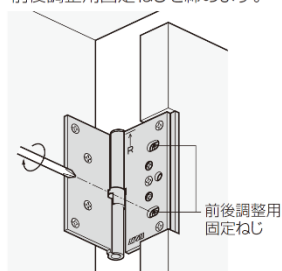
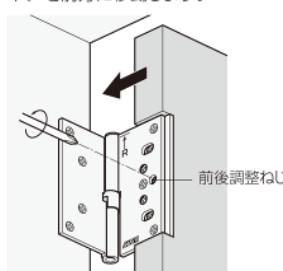
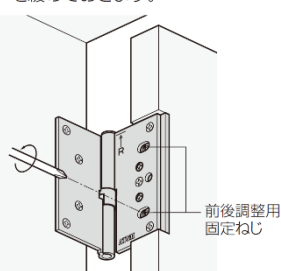
前後調整方法

ドアが後に下がり過ぎている



前後調整ねじを
左に回すと、
ドアが前方向に
寄ってきます。
最大 3mm

- ①ドア側ハネの前後調整用固定ねじ
を緩めておきます。
- ②前後調整ねじを左に回して、
ドアを前方に移動します。
- ③位置が決まったら、緩めておいた
前後調整用固定ねじを締めます。

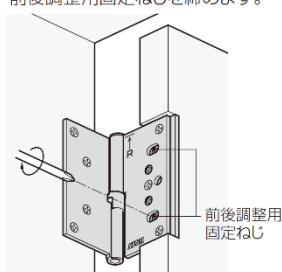
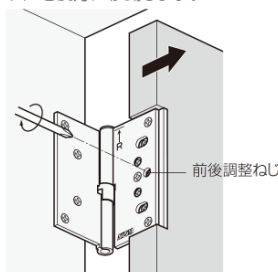
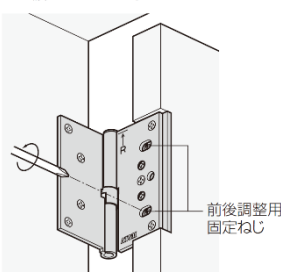


ドアが前に出過ぎている

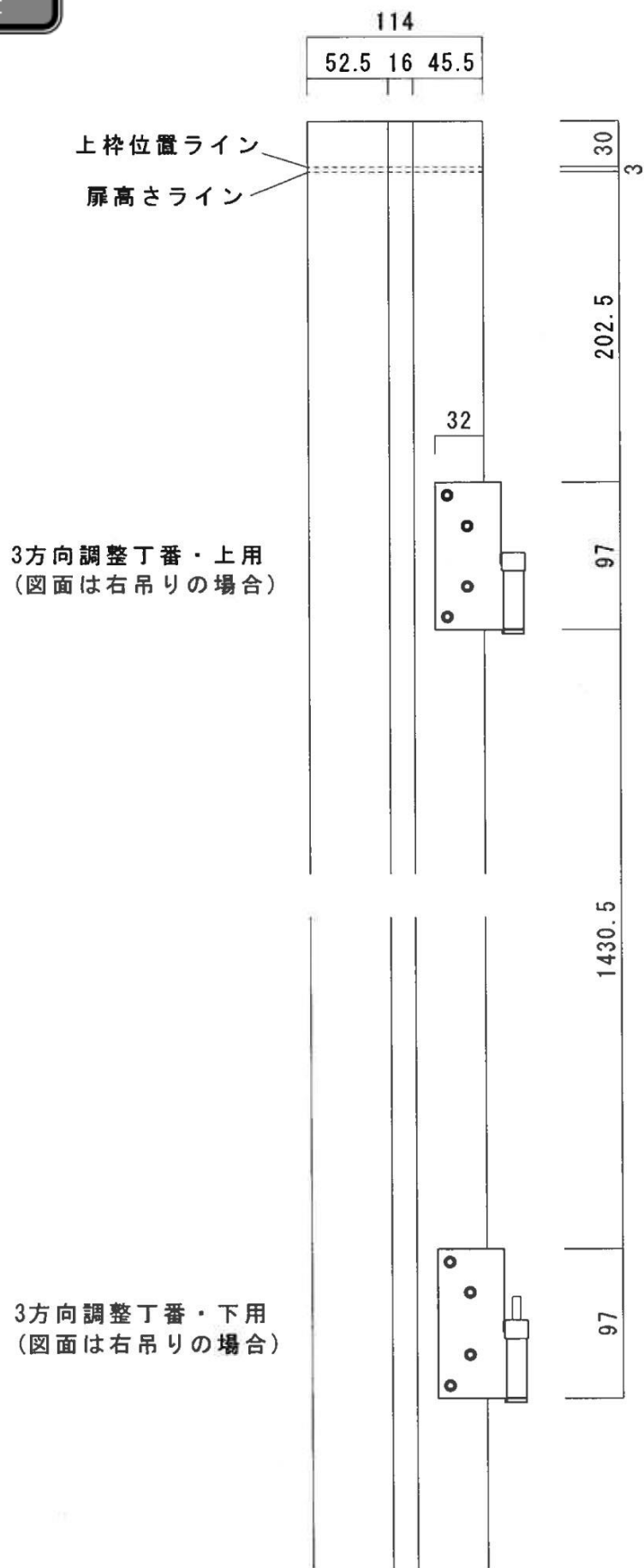


前後調整ねじを
右に回すと、
ドアが後方向に
寄ってきます。
最大 1mm

- ①ドア側ハネの前後調整用固定ねじ
を緩めておきます。
- ②前後調整ねじを右に回して、
ドアを後方に移動します。
- ③位置が決まったら、緩めておいた
前後調整用固定ねじを締めます。



3方向調整丁番
取り付け位置



※木製ドアに取り付けるため、インパクトドライバーなどでの取り付けはしないで下さい。

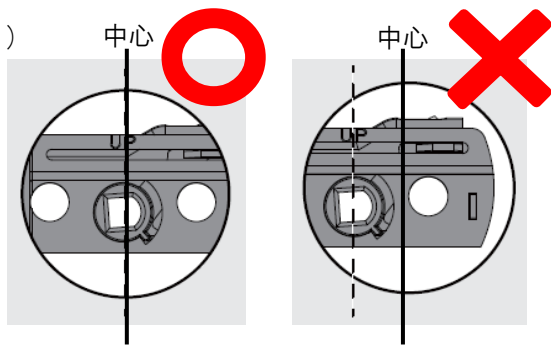
絞めすぎないように、必ず手動ドライバーをお使い下さい。

①ラッチの穴が、扉に開けた穴の中心と一致するように、

扉にラッチを取り付けます。(図1)

※必ずドライバーで取付をして下さい。

(図1)



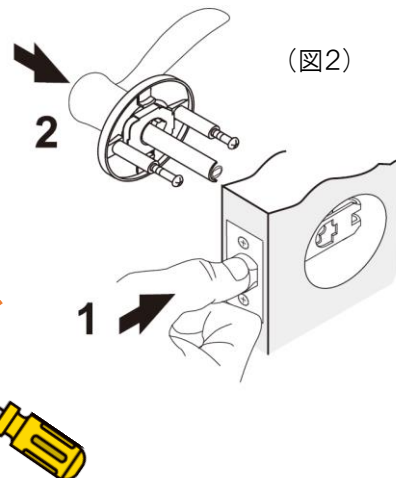
②心棒のある方のドアノブを取り付けます。

ラッチを指で押し込みながらハンドルを差し込みます。(図2)

※初期状態でネジがついていますが、取り外さず、

そのまま取り付けて下さい。

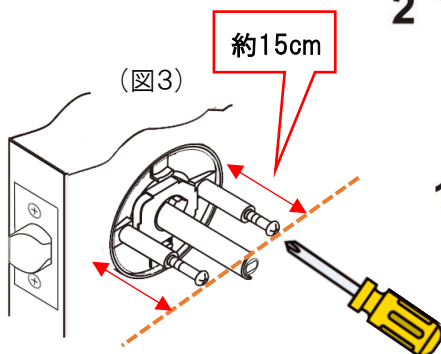
(図2)



③扉面からネジ頭まで約15cmほどの長さになるまで、

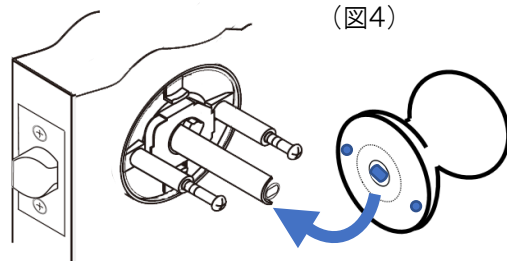
取り付けネジを2本とも絞めこみます。(図3)

(図3)



④心棒とノブの穴形状を合わせて反対側のノブを取り付けます。(図4)

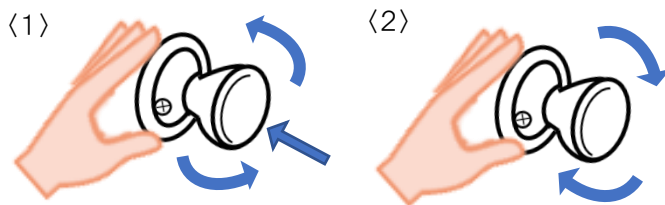
(図4)



⑤反時計回りに取手部分をひねりながらノブを押し込みます。

ネジが引っ掛かったら、取手部分を時計回りに回します。(図5)

(図5)



⑥ノブを押し込みながら、しっかりと取り付けネジを締めこみます。(図6)

※取り付けの際、ノブを傷つけない様、

細いビットのドライバーのご使用をお勧めします。

(図6)



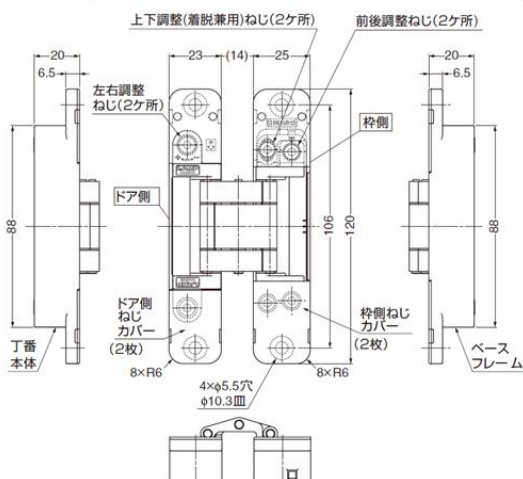
三次元調整機能付隠し丁番 取り付け・調整方法

調整代

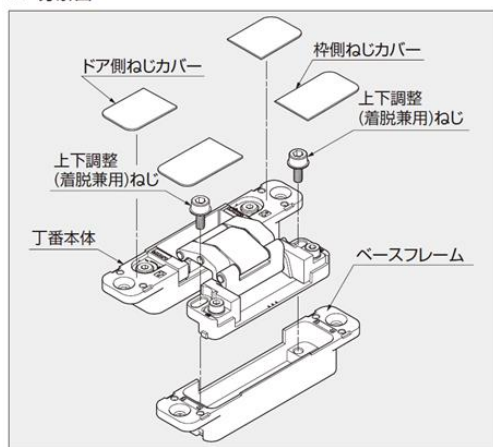
上下方向	±2.5mm
左右方向	±2mm
前後方向	±1mm

オプション隠し丁番

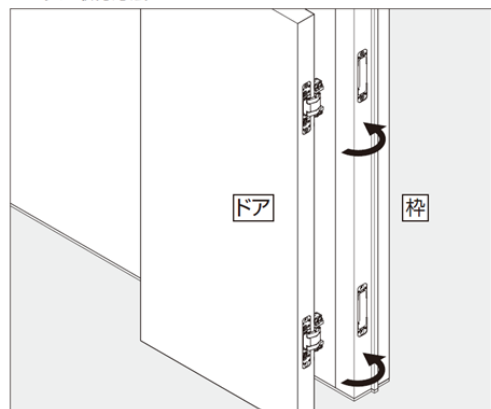
各部名称



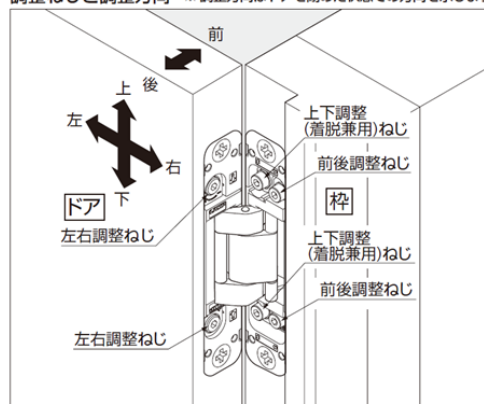
a. 分解図



b. ドア取付方法



調整ねじと調整方向 ※ 調整方向はドアを開めた状態での方向を示します。



取付手順

1. 図aのようにねじカバーと上下調整(着脱兼用)ねじを外し、丁番本体とベースフレームに分けます。
2. 丁番本体(LAMPロゴ有る側)をドアの掘込穴に、ベースフレームを枠の掘込穴に差し込み、付属のねじで固定します。
3. 図bのように上側と下側の丁番本体の向きを合わせてから、ドアを持ち上げて、上側と下側の丁番本体を同時にベースフレームの奥まで差し込みます。仮止機能によりドアが一時的に枠側に保持されます。
4. 取付手順1で外した上下調整(着脱兼用)ねじを取り付け、付属の六角棒スパナで仮締めし、ドア位置調整作業に進みます。

⚠ 注意

- ・ベースフレームには方向性が有りますので、ベースフレームを枠の掘込穴に差し込む前に、丁番本体とベースフレームを組み合わせて、丁番本体がベースフレームの奥まで入る分解前と同じ状態になる事を確認してからその方向でベースフレームを枠の掘込穴に取り付けてください。
- ・向きが異なっていると、仮止機能が働かない上に、ドアの固定もできません。
- ・ドアを仮止状態で開閉したり、無理な力を加えないでください。ドアが外れてけがをする可能性があります。

ドア位置調整手順

- ドア位置調整は「調整ねじと調整方向」を参照に、一方向ずつ行ってください。

1. 上下方向の調整

上下調整(着脱兼用)ねじを付属の六角棒スパナで一回転分緩めてドアの上下位置調整を行います。ドアを持ち上げて板等をはめ、適切な高さに調整してください。上下の位置調整後に付属の六角棒スパナで上下調整(着脱兼用)ねじを確実に締めてください。

2. 前後方向の調整

前後調整ねじを付属の六角棒スパナで一回転分緩めて、ドアの前後位置調整を行います。ドアを前後に動かして適切な位置に調整してください。前後の位置調整後に付属の六角棒スパナで前後調整ねじを確実に締めてください。

⚠ 注意

- ・上下調整(着脱兼用)ねじと前後調整ねじの推奨締付トルクは3N・m(30.6kgf・cm)です。
- ・前後調整ねじは取り外さないでください。ドアが外れてけがをする可能性があります。

3. 左右方向の調整

付属の六角棒スパナで左右調整ねじを回して、ドアの左右位置調整を行います。右方向に回すと吊元の枠とドアの隙間が大きくなり、左方向に回すと隙間が小さくなります。左右調整ねじ(一つの丁番に2ヶ所)をそれぞれ少しずつ回し適切な位置に調整してください。

⚠ 注意

- ・左右調整は、左右調整ねじ(一つの丁番に2ヶ所)をそれぞれ少しずつ回してください。片方のねじだけを無理に回すと丁番が破損する原因となります。又、2ヶ所の左右調整ねじは同じ調整量になるようにしてください。調整量が異なりますと破損や不具合の原因となります。
- ・左右調整ねじは右方向に回して2mm以上出さないでください。ドアが外れてけがをする可能性があります。

- 最後にねじカバーをかぶせて完成です。ねじカバー裏面の丸形凸部を穴に合わせて押し込んでください。

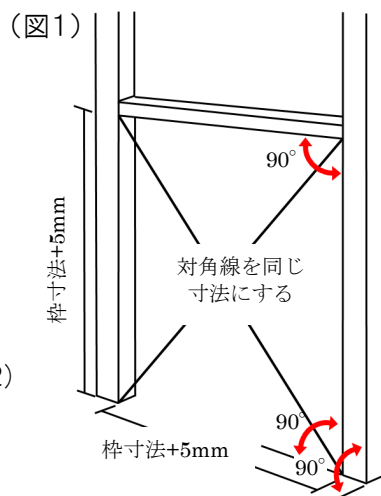
⚠ 注意

- ・ねじカバーを着脱する際は、無理な力を加えないで下さい。ねじカバーが破損する可能性があります。

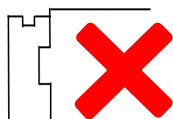
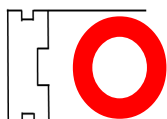
4. 1本引きドア施工手順

1. 準備

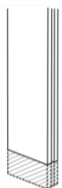
- ①開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。(図1)
(幅サイズ:外枠寸法+5mm、高さサイズ:2073+5mm+アンダーカット分)
※柱の垂直・床・まぐさの水平を水平器でよく確認して下さい。
※柱・床・まぐさの水平、垂直が出ていないとたおれ、太鼓、鼓、傾き、ねじれの原因となりますので十分に注意してください。
※対角寸法を同じにして下さい。
- ②梱包を開けて部品を確認して下さい。
- ③組立ビスを使い枠を組み立て、縦枠と上枠にズレがないことを確認して下さい。(図2)
- ④現場に合わせ、枠下端をカットし、施工をして下さい。(図3)



(図2)



(図3)

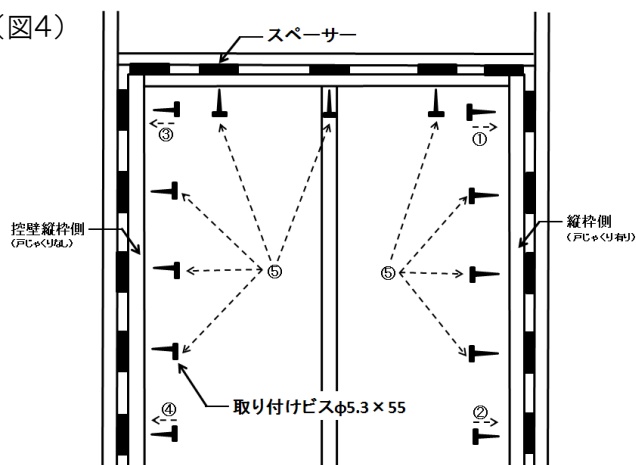


カット

2. 開口部への枠の取り付け

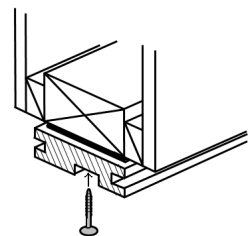
- ①枠を開口部にはめ込み、縦枠側(戸じゃくり有り)の上部を枠取り付けビスで仮固定して下さい。
- ②下げ振りを使って垂直をだしてから、縦枠(戸じゃくり有り)の下部を枠取り付けビスで仮固定してください。
- ③水平器で上枠の水平を見ながら、戸当りの上部を枠取り付けビスで仮固定してください。
- ④下げ振りを使って垂直をだしてから、戸当りの下部を枠取り付けビスで本固定してください。
- ⑤枠の前後、左右のたわみがないように調整して残りの枠取り付けビスで本固定をして下さい。

(図4)

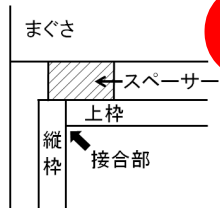


ビス固定時の注意点

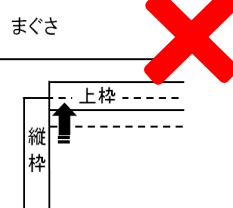
上 枠



上枠の溝に同梱の枠取り付けビスを固定して下さい。



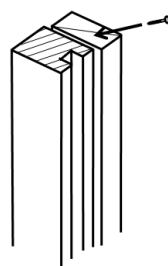
上枠と縦枠の接合部とまぐさの間に、隙間が生じないように、スペーサーを入れて下さい。



※接合部とまぐさの間にスペーサーがないと、上枠が持ち上がり戸車脱輪の原因となります。

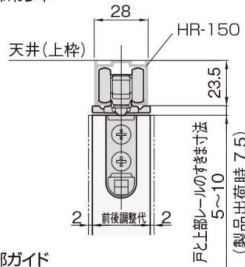
方 立

裏面からビスで固定して下さい(現場手配)。

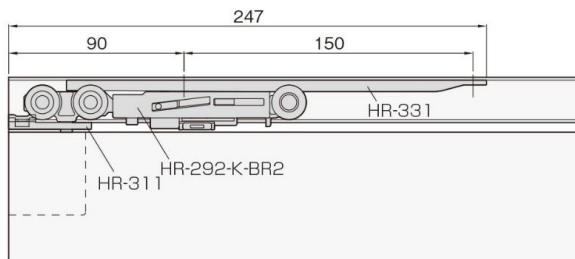
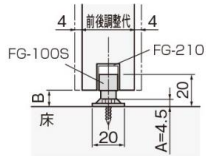


設計ガイド

上部吊り車



下部ガイド



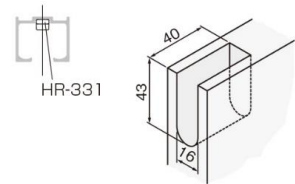
●戸の高さ寸法の求め方

戸の高さ = 枠の内寸高さ - 上部レールの高さ - 戸と上部レールの最大すきま寸法(左図参照) - 3mm - A
 ※上式で戸の高さを求めることにより、戸と上部レールのすきま寸法範囲で上下調整ができます。
 ※上部レールの高さは、HR-150(直付け用) = 23.5mm、HR-130(掘込み用) = 1.5mm(つばの厚さ)です。
 ※上式の3mmは、戸を下に調整した際、戸を下部ガイドに接触させないための逃げ寸法です。

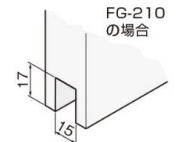
●B(下すきま寸法)の求め方

B = 枠の内寸高さ - 戸の高さ - 上部レールの高さ - 戸と上部レールのすきま寸法
 ※戸と上部レールのすきま寸法は、左図の範囲内で任意の寸法を設定できます。

■戸の加工寸法参考図 上部吊り車の取付け加工寸法



下溝用ガイドレールの 取付け加工寸法

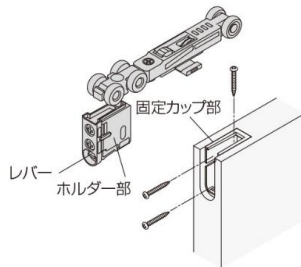


施工ガイド

■金具の取付け方法

1.上部吊り車の取付け

- ①ホルダー部のレバーをつまんで、固定カップ部とホルダー部を分離します。
- ②固定カップ部のみ、戸の木口加工部に取付けてください。

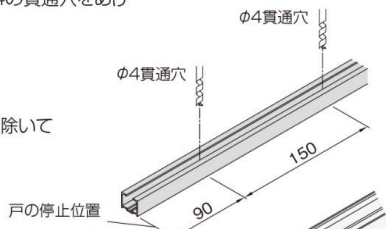


2.レールの穴あけ

- ①レール芯の所定位置にφ4の貫通穴をあけます(2ヶ所)。

ご注意

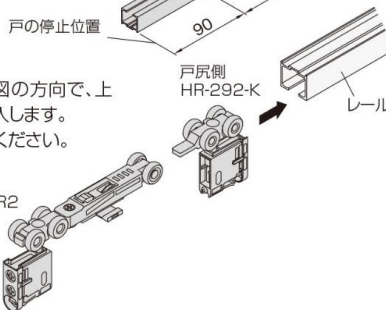
レール内に残った切り粉は取除いてください。



3.レールの取付け

- ①レールを取付ける前に、図の方向で、上部吊り車をレール内に挿入します。
- ②上枠にレールを取付けてください。

戸先側
HR-292-K-BR2

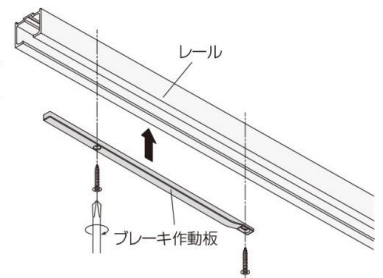


4.ブレーキ作動板の取付け

- ①「2.レールの穴あけ」であけた穴に、ブレーキ作動板の穴を合わせて取付けます。

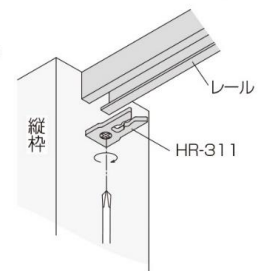
ご注意

ブレーキ作動板の向きに注意して取付けてください。



5.キャッチの取付け

- ①縦枠に接する位置に固定します。

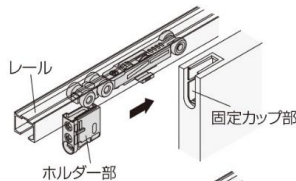


6.下部ガイドの取付け

- ①下部ガイドを床の所定の位置に取付けてください。
垂直に戸が吊り込めるよう、取付け位置に注意してください。

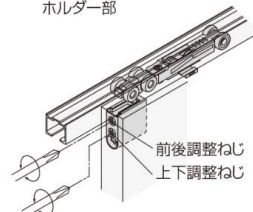
■戸の吊込み

- ①下部ガイドに戸の下部ガイド溝を差込みます。
- ②固定カップ部にホルダー部をしっかりと差込みます。
※しっかりと差込み、抜けないことをご確認ください。



■戸の位置調整

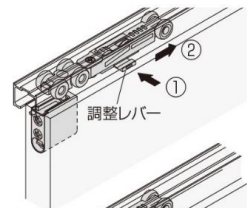
- ①戸を吊ったままで、ホルダー部の上のねじを回すと、戸の前後調整、下のねじを回すと戸の上下調整ができます。
※調整時に戸を持ち上げると、調整しやすい場合があります。



■ブレーキ力の調整

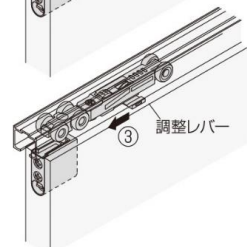
●ブレーキ力を強くする場合

調整レバーを①の方向に、マイナスドライバーなどの工具・もしくは指で押しながら、②の方向へスライドさせてください。



●ブレーキ力を弱くする場合

調整レバーを押さずに、③の方向へスライドさせてください。



5. 引き違いドア施工手順

1. 準備

①開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。(図1)

(幅サイズ:外枠寸法+5mm、高さサイズ:2073+5mm+アンダーカット分)

※柱の垂直・床・まぐさの水平を水平器でよく確認して下さい。

※柱・床・まぐさの水平、垂直が出ていないとたおれ、太鼓、鼓、傾き、ねじれの原因となりますので十分に注意してください。

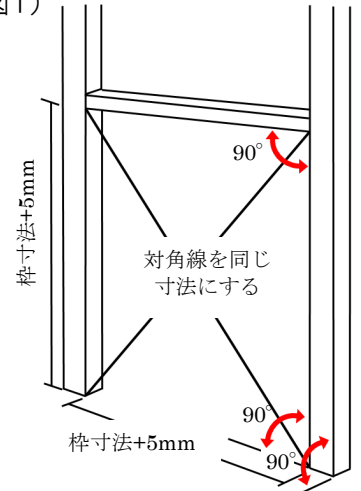
※対角寸法を同じにして下さい。

②梱包を開けて部品を確認して下さい。

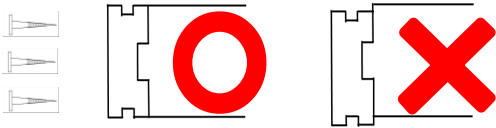
③組立ビスを使い枠を組み立て、たて枠と上枠にズレがないことを確認して下さい。(図2)

④現場にあわせ、枠下端をカットし、施工をして下さい。(図3)

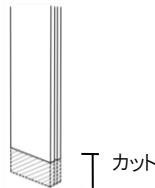
(図1)



(図2)



(図3)



2. 開口部への枠の取り付け

①枠を開口部にはめ込み、縦枠側(戸じゃくり有り)の上部を枠取り付けビスで仮固定して下さい。

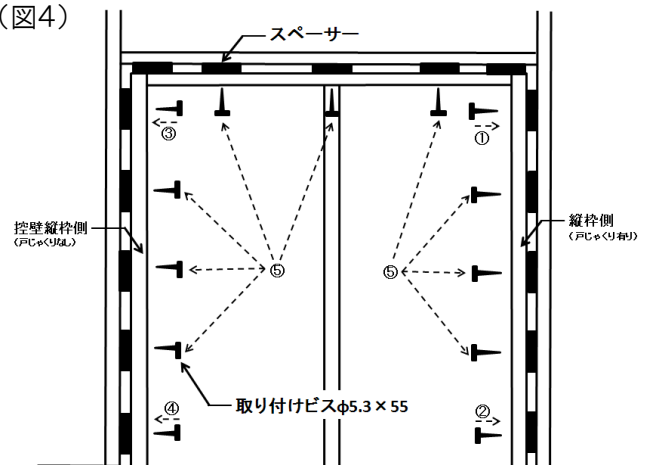
②下げ振りをを使って垂直をだしてから、縦枠(戸じゃくり有り)の下部を枠取り付けビスで仮固定してください。

③水平器で上枠の水平を見ながら、戸当りの上部を枠取り付けビスで仮固定してください。

④下げ振りをを使って垂直をだしてから、戸当りの下部を枠取り付けビスで本固定してください。

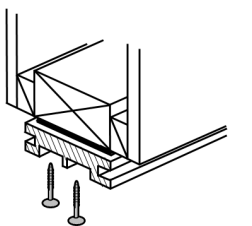
⑤枠の前後、左右のたわみがないように調整して残りの枠取り付けビスで本固定してください。

(図4)

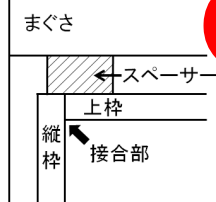


ビス固定時の注意点

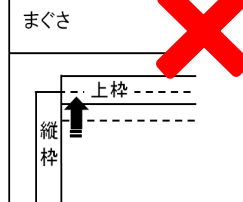
上 枠



上枠の溝に同梱の枠取り付けビスを固定して下さい。



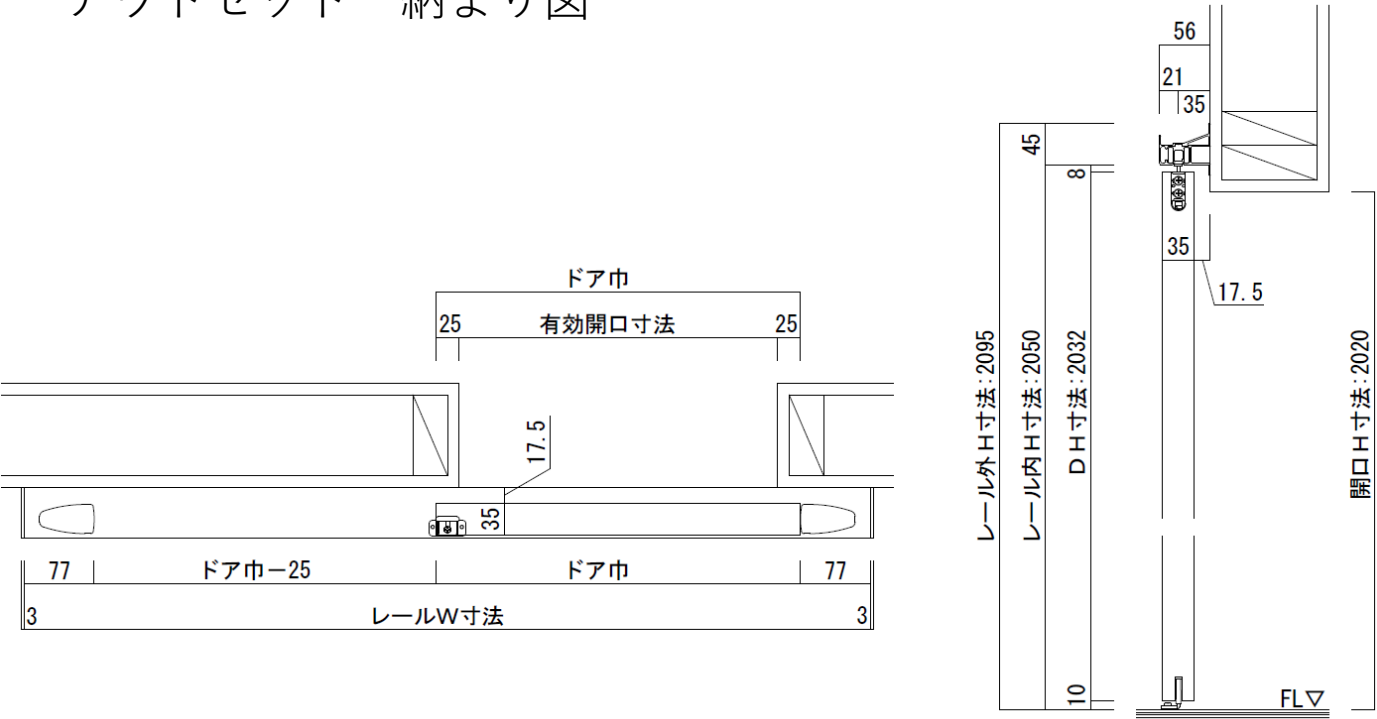
上枠と縦枠の接合部とまぐさの間に、隙間が生じないように、スペーサーを入れて下さい。



※接合部とまぐさの間にスペーサーがないと、上枠が持ち上がり戸車脱輪の原因となります。

6. アウトセット施工手順

アウトセット 納まり図



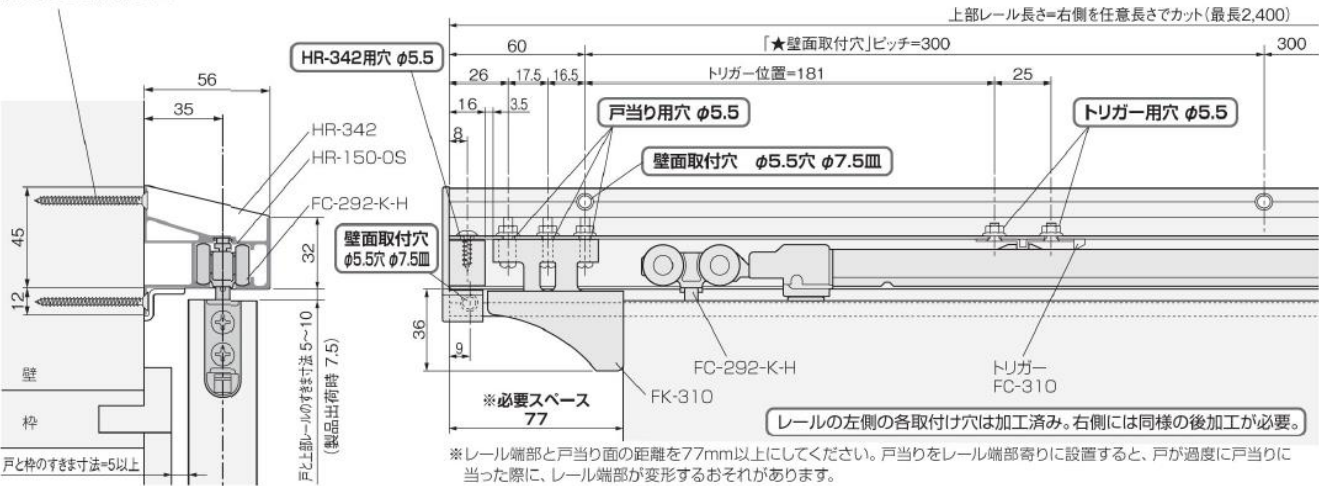
アウトセットレール施工ガイド

■金具の納まり参考図

上部レールおよび吊り車

※本図はレール左側を表しています。
右側は左右対称となります。

レール固定ねじは添付
されていません。
別途皿タッピンねじ4×50
(推奨)をご使用ください。



レール加工時のご注意

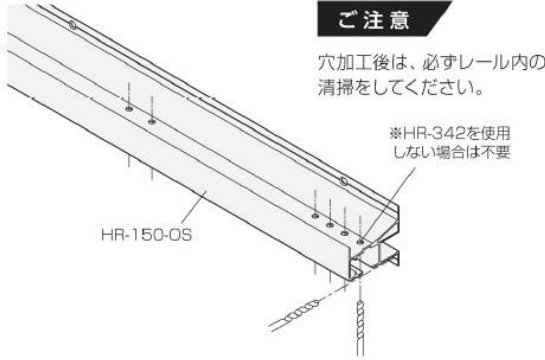
- レールには左右勝手があります。正面から見て左側の取付け穴を基準に施工しますので、レールをカットする場合は右側をカットしてください。
- ★壁面取付穴」と左側の各取付け穴は加工済みです。右側の穴はすべて別途穴加工が必要となります。
- 図はレール左側の穴加工位置です。右側にも左右対称となる位置に同様の穴加工をしてください。
- 左端部から9mmと60mmの位置にある壁面取付穴は、右端部にはありませんので、レールカット後、同様の位置に穴加工をしてください。

<施工ガイド(レールの取付け)>

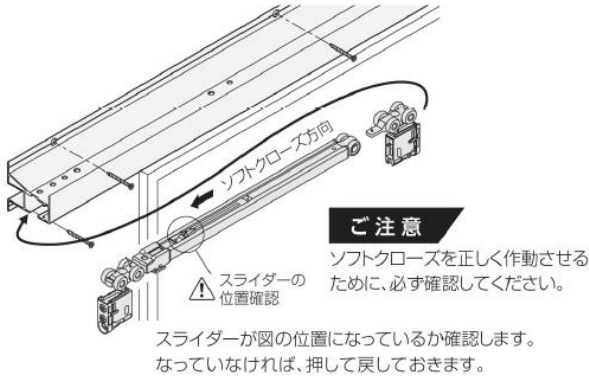
■金具の取付け方法

1.レールの取付け

①レールの右側を任意長さでカット後、「設計ガイド」の加工寸法を参考に、レールの右側に穴加工をします。戸当りやトリガー用の穴は上部レールの内側から加工します。



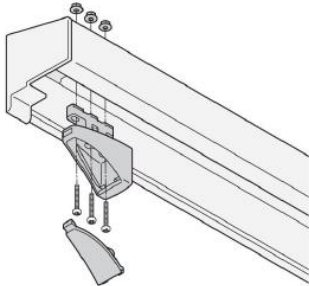
②上部吊り車をレールに挿入し、レールを壁面に固定します。HR-342を使用する場合はこの時に取付けます。



※レール取り付け用のビスは、現場でご用意ください。

2.戸当りの取付けと戸の吊込み

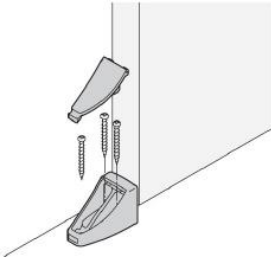
①上部戸当りをレールに取付けます。



②右ページを参考に、トリガーと下部ガイドを取付け、戸を吊込みます。

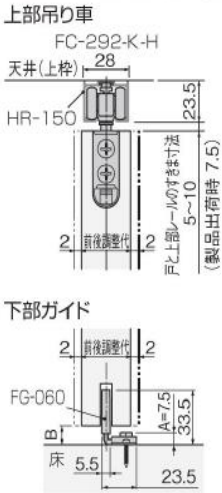
③右ページを参考に、戸の位置調整をし、ソフトクローズの初回動作を確認します。

④下部戸当りを上部戸当りと位置を合わせ、床に取付けます。



<設計ガイド(ソフトクローズ)>

■金具の納まり参考図



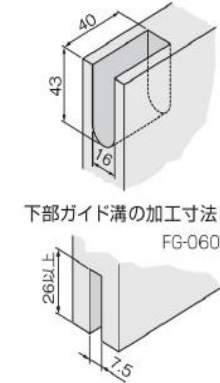
●戸の高さ寸法の求め方

戸の高さ = 枠の内寸高さ - 上部レールの高さ - 戸と上部レールの最大すきま寸法(左図参照) - 3mm - A
※上式で戸の高さを求めることにより、戸と上部レールのすきま寸法範囲で上下調整ができます。
※上部レールの高さは、HR-150 (直付け用) = 23.5mm、HR-130 (掘込み用) = 1.5mm (つばの厚さ) です。
※上式の3mmは、戸を下に調整した際、戸を下部ガイドに接触させないための逃げ寸法です。

●B(下すきま寸法)の求め方

B = 枠の内寸高さ - 戸の高さ - 上部レールの高さ - 戸と上部レールのすきま寸法
※戸と上部レールのすきま寸法は、左図の範囲内で任意の寸法を設定できます。

■戸の加工寸法参考図



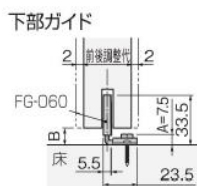
■金具の取付け方法

1. 上部吊り車の取付け

1. 上部吊り車の取付け

-
- レバーホルダー部
- 固定カップ部

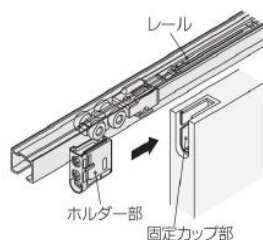
① 下部ガイドを床の所定の位置に取付けてください。
垂直に戸が吊り込めるよう、取付け位置に注意してください。



①下部ガイドに戸の下部ガイド溝を差込みます。

- ②固定カップ部にホルダー部をしっかりと差込みます。

※しっかりと差込み、抜けないことをご
確認ください。



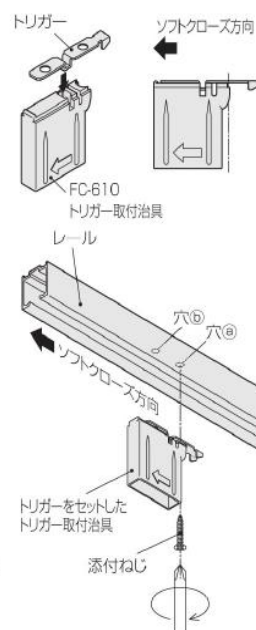
- ①トリガーをトリガー取付け用治具にセットします。
- ②「2.レールの穴あけ」であけた穴⑥に右記治具を図に示す方向でレール内部に押し込み、添付ねじでトリガーを固定します。

- 治具はトリガーが完全に固定されるまで、押し当て続けてください。
- トリガーをレールに取り付けたときにトリガーがレール内の溝にまっすぐ入るようにしてください。



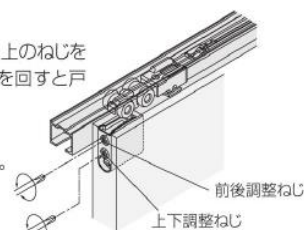
- 必ず手回しドライバーで締め付けてください。
- トリガーが溝に入っていない状態でねじを締め付けると、トリガーが変形します。

- ③完全に固定されたら、取付治具を下に引き抜き、残りの穴⑥をねじ止めしてください。



①戸を吊ったままで、ホルダー部の上のねじを回すと戸の前後調整、下のねじを回すと戸の上下調整ができます。

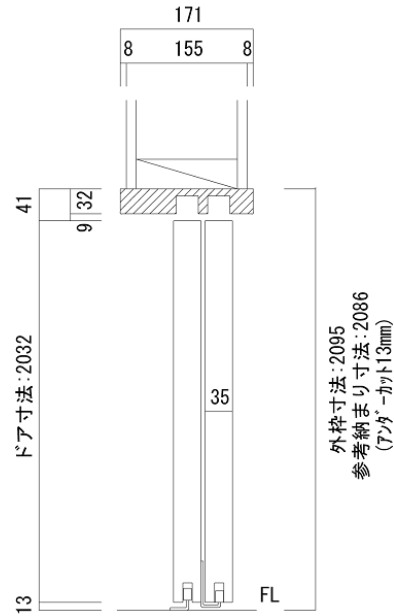
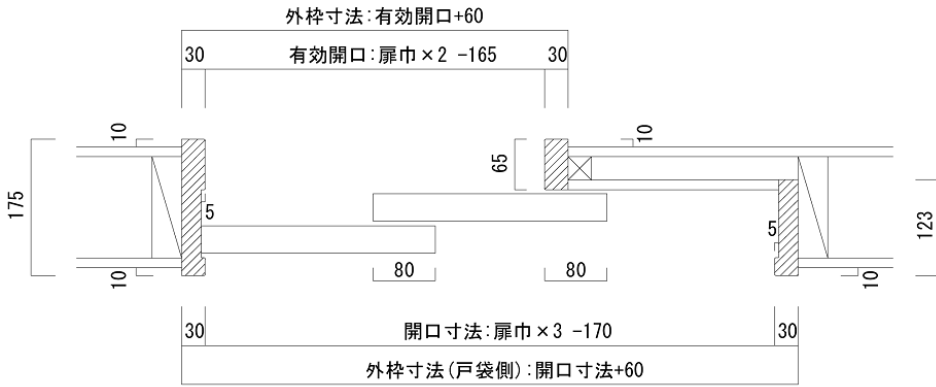
- ※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。



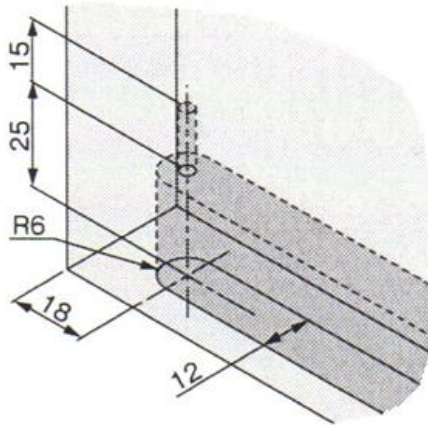
※ソフトクローズの速度調整はできません。

7. 2本引き込みドア施工手順

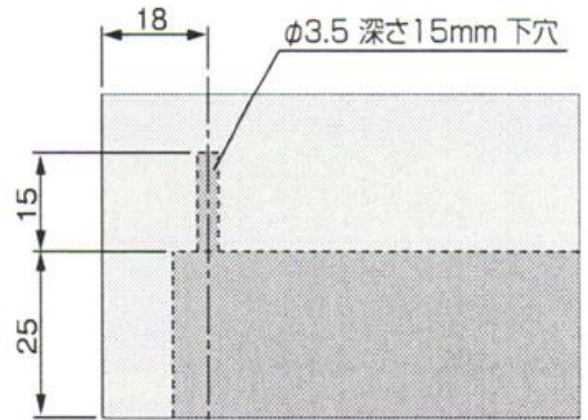
2本引き込みドア（固定枠仕様） 納まり図 連動引戸金具FG-800



戸下面の加工寸法図



下穴加工



金具の取付け位置

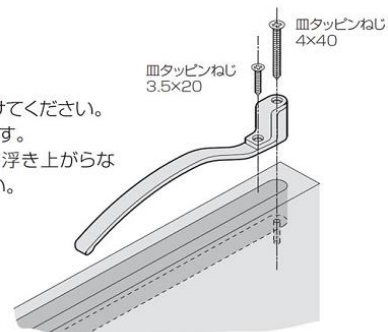
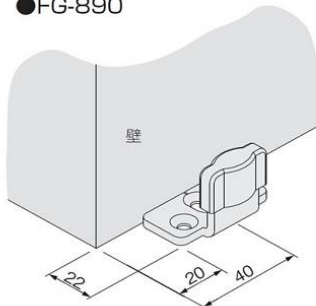
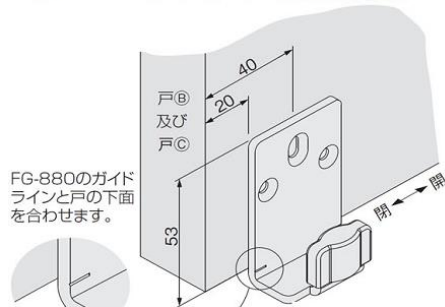
●FG-880 (戸Ⓑと戸Ⓒの閉じ側先端部)

●FG-890

●FG-870

《ご注意》

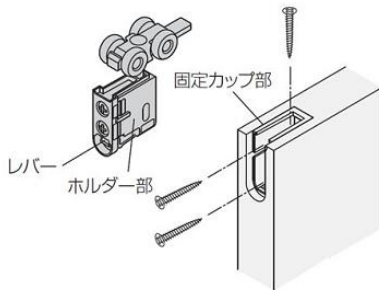
手回しドライバーで取付けてください。
締付けすぎると、変形します。
また、FG-870の先端が浮き上がらないように取付けてください。



■金具の取付け方法

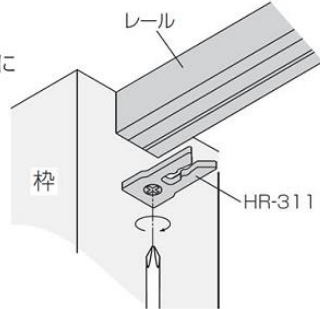
1.上部吊り車の取付け

- ①上部吊り車は、ホルダー部のレバーをつまんで、固定カップ部とホルダー部を分離します。
- ②固定カップ部のみ、戸の木口加工部に取付けてください。



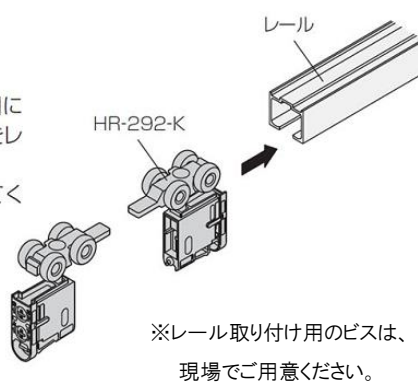
3.キャッチの取付け

- ①キャッチは、レールを取付けた後に装着する事ができます。



2.レールの取付け

- ①レールを取付ける前に、図に示す方向で、上部吊り車をレール内に挿入します。
- ②上枠にレールを取付けてください。



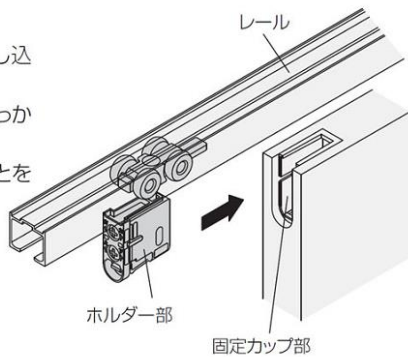
※レール取り付け用のビスは、現場でご用意ください。

4.下部ガイドの取付け

- ①下部ガイドを床の所定の位置に取付けてください。垂直に戸が吊り込めるよう、取付け位置に注意してください。

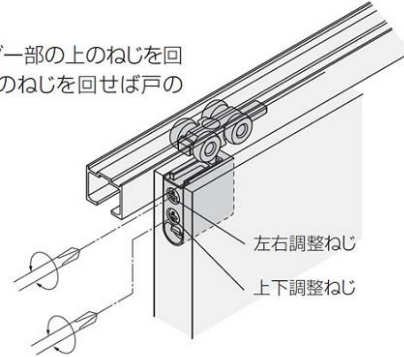
■戸の吊込み

- ①下部ガイドに戸のガイド溝を差し込みます。
 - ②固定カップ部に、ホルダー部をしっかりと差し込みます。
- ※しっかりと差し込み、抜けないことをご確認ください。



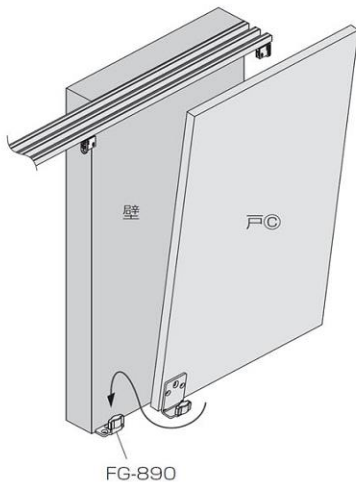
■戸の位置調整

- ①戸を吊ったままで、ホルダー部の上のねじを回せば、戸の左右調整、下のねじを回せば戸の上下調整ができます。

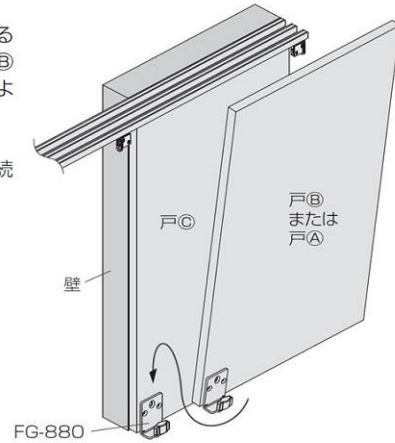


■戸の吊込み

- ①戸Cの下部溝をFG-890 (床付ガイド)に被せるように上部レールの下に設置します。
- ②戸とレール内上部吊り車を接続します。

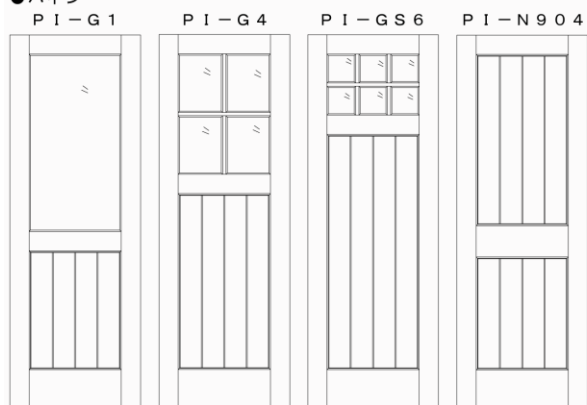


- ③戸Cの先端に取り付けてあるFG-880 (壁付けガイド)に戸Bまたは戸Aの下部溝を被せるように設置します。
- ④戸とレール内上部吊り車を接続します。

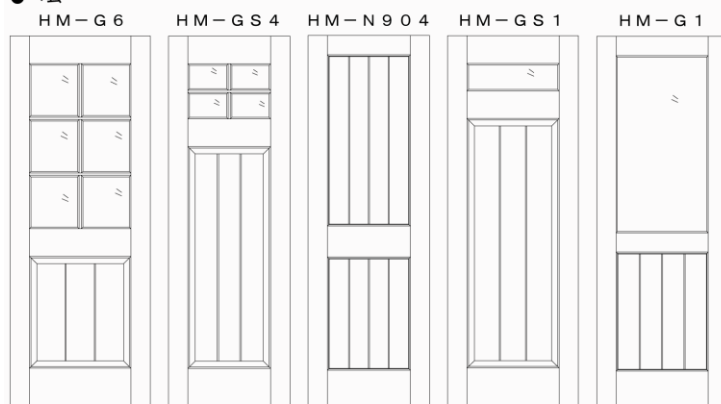


ドアデザイン

●パイン



●ヘム



●アルダー



吊りもとの見方

ドア吊り元

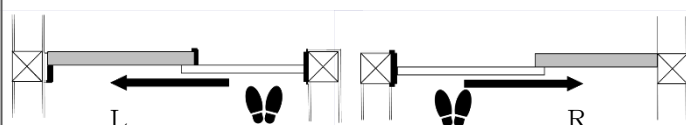
左吊元(LH)

内側

右吊元(RH)

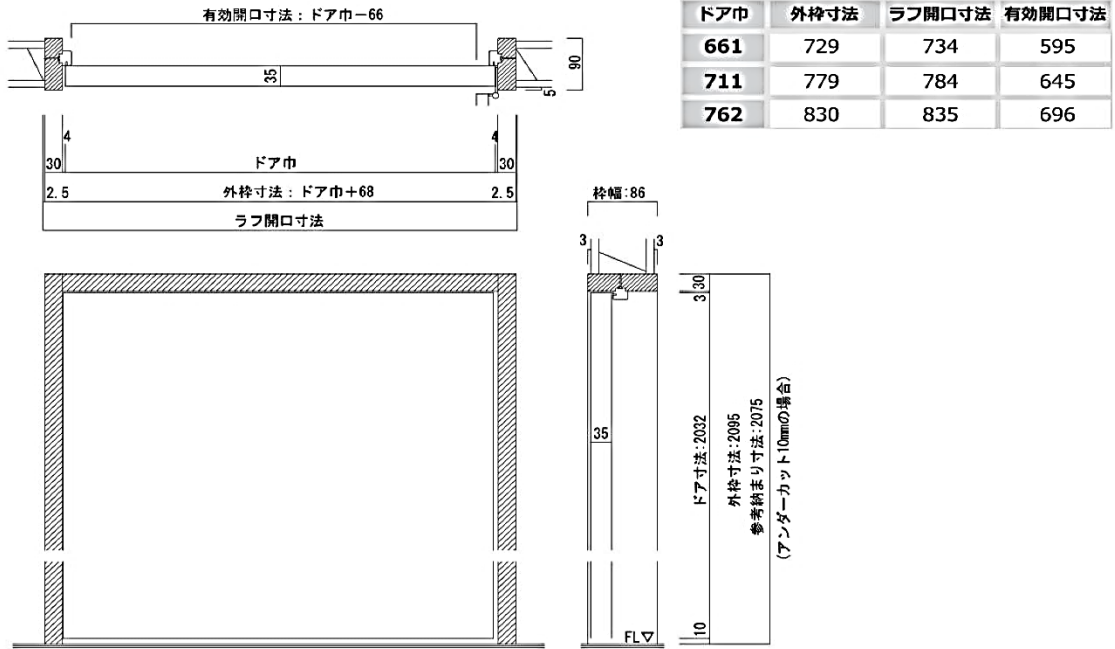


引き手方向

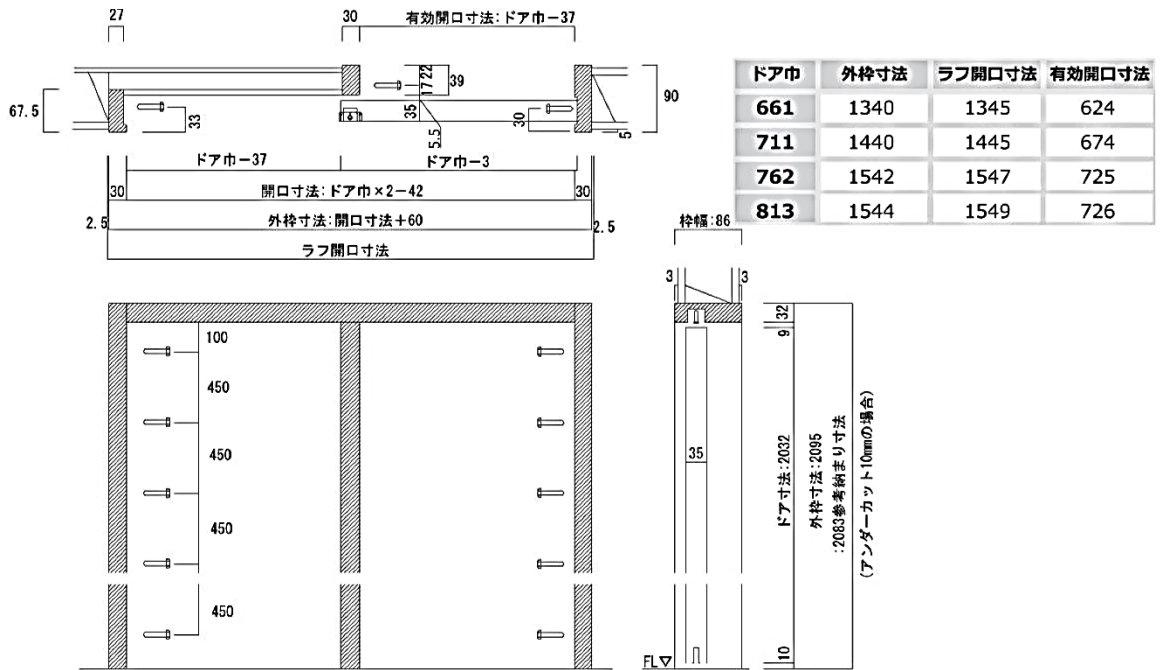


固定枠納まり図

●片開きドア 固定枠

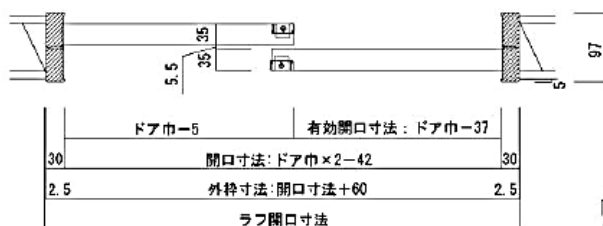


●1本引きドア 固定枠

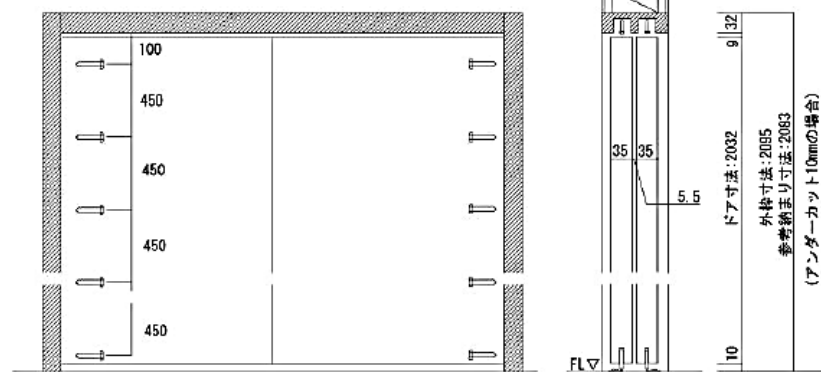


固定枠納まり図

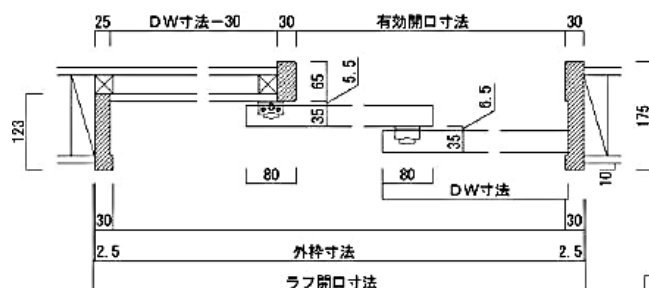
●引き違いドア 固定枠



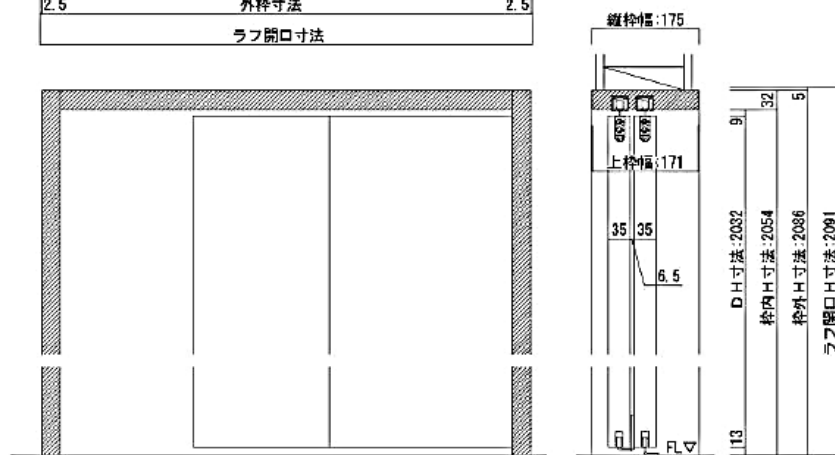
ドア巾	外枠寸法	ラフ開口寸法	有効開口寸法
661	1340	1345	624
711	1440	1445	674
762	1542	1547	725
813	1644	1649	726



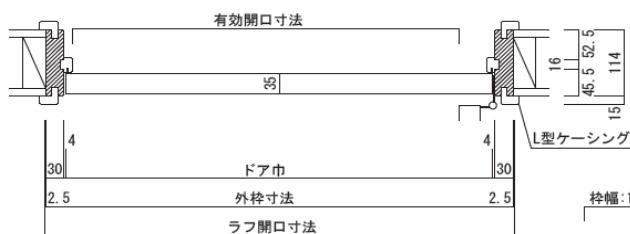
●2本引き込みドア 固定枠



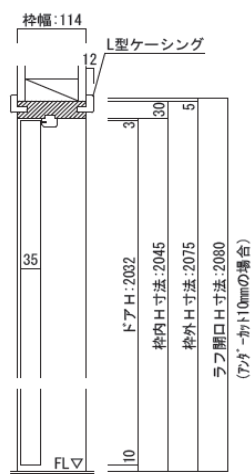
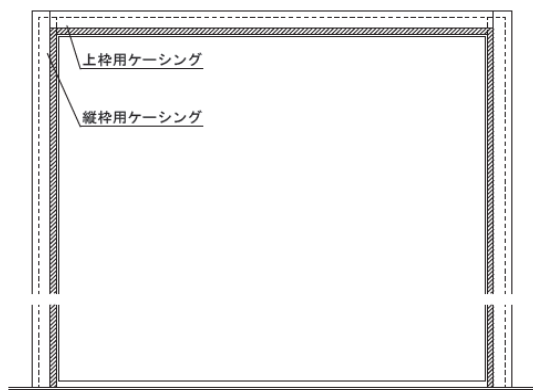
ドア巾	外枠寸法	ラフ開口寸法	有効開口寸法
661	1873	1878	1157
711	2023	2028	1257
762	2176	2181	1359
813	2329	2334	1461



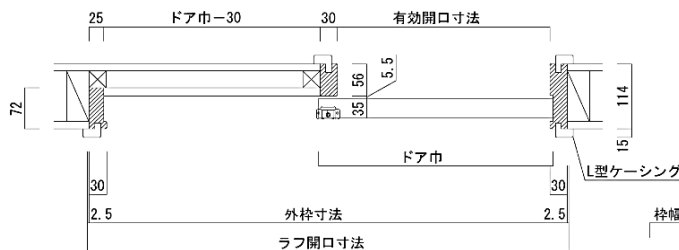
●片開きドア ケーシング枠



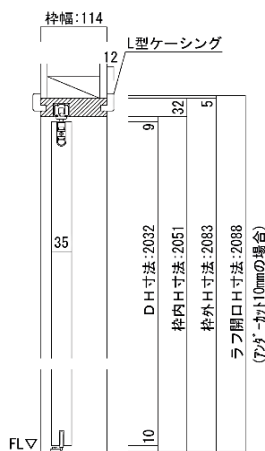
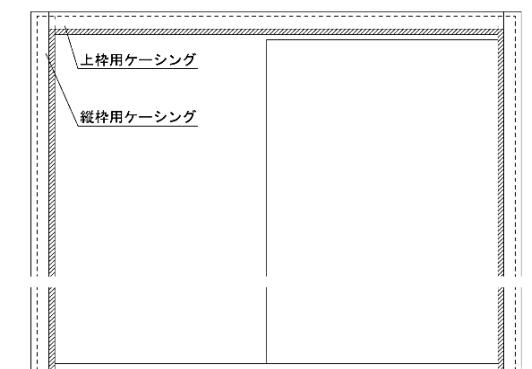
ドア巾	外枠寸法	ラフ開口寸法	有効開口寸法
661	729	734	595
711	779	784	645
762	830	835	696



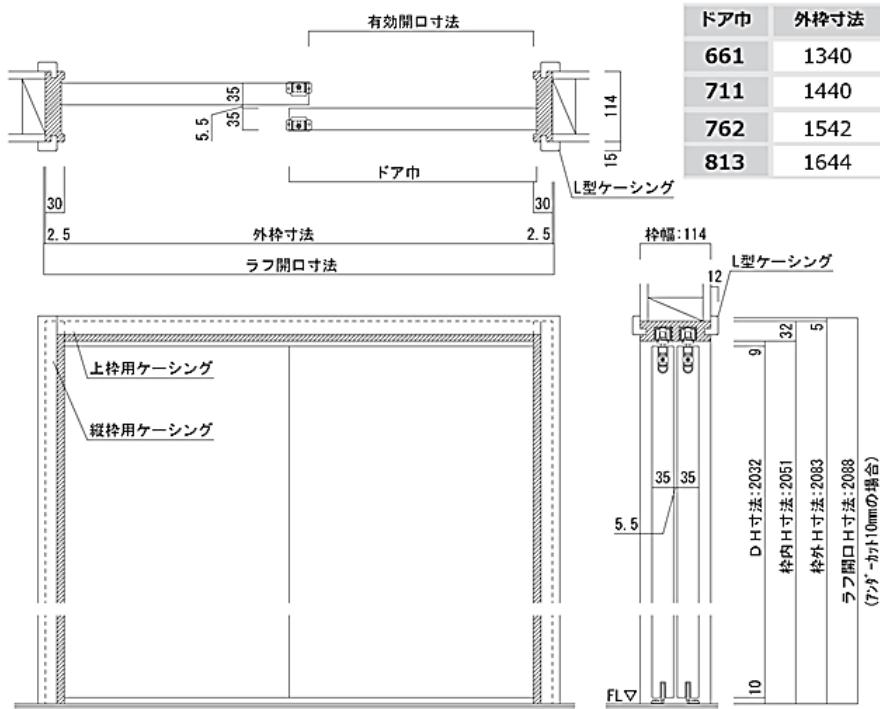
●1本引きドア ケーシング枠



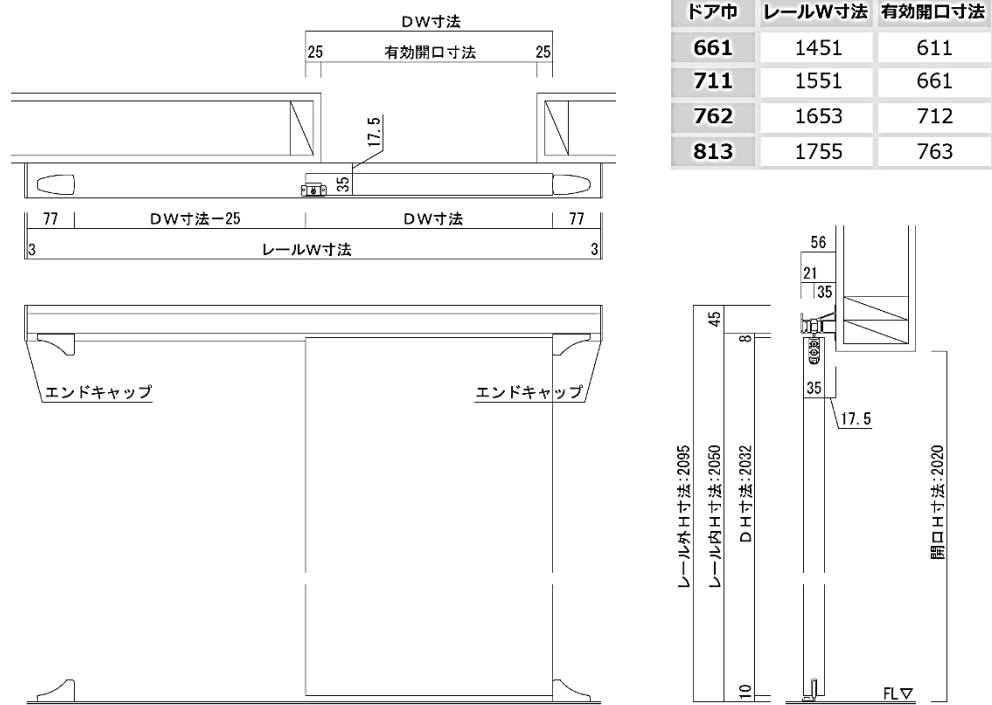
ドア巾	外枠寸法	ラフ開口寸法	有効開口寸法
661	1340	1345	624
711	1440	1445	674
762	1542	1547	725
813	1644	1649	776



●引き違いドア ケーシング枠



●アウトセットドア





〒060-8576 札幌市東区北 6 条東 4 丁目 1 番 7 号
デ・アウネさっぽろ 6 F
TEL(011)743-0611 FAX(011)751-5202
www.kimuranet.jp